

第105回全国高校野球選手権大会

打撃練習に取り組む八学光星の選手
11日、大阪府豊中市



第105回全国高校野球選手権大会に出場している青森県代表の八学光星は大会第7日の12日、第1試合の2回戦（午前8時開始予定）で、同じ東北地区のノースアジア大明桜（秋田）と対戦する。初戦を間近に控えたナインは10日、大阪府豊中市の豊中ローズ球場で調整し、約2時間にわたって守備や打撃の練習に汗を流した。

投打の調整、入念に

練習は午前9時ごろに開始。ナインは仲井宗基監督らからフックを受けた後、左右の投手をマウンドよりやや前に立たせた打撃練習に取り組む、鋭い打球を次々と飛ばしていた。青森県大会で打撃好調だったトップバッター・砂子田陽士は、フォームを修正して「あつていない」としつつ、「あと1日しかないので、集中して調整し、初戦を迎えたい」と意気込みを語った。

背番号1の2年生左腕・洗平比呂ら投手陣はブルペンに入り、フォームや投球感覚を入念に確かめた。ナインは11日も、試合開始予定時間と同じ午前8時から約2時間練習し、翌日の初戦に備える予定だ。（千葉達也）

光星あす明桜（秋田）戦